

次年度に向けての取り組み目標と具体的な取り組み方策

令和6年度取り組み目標と方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[1] 教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内施設, ICT教育設備の充実 ・ 理系インター, リベラルアーツクラスの関係確立 ・ 業務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教室内へのプロジェクター設置を, 可能なところから開始する。 ・ 令和6年度より, 全学年において理系インタークラスとリベラルアーツクラスを設置する。実施と検証を繰り返し, 有効な関係性を構築していきたい。 ・ 教員のシフト制が適切に運用できるよう, 業務が人に付かないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局と協力の上, 夏ごろまでに目途をつける。 ・ 夏までの状況を教員研修で振り返り, その後の計画を立てる。 ・ 1年間をかけて実施する。
[2] 教科指導 (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の質の転換 	<p>令和4年度に変えた成績評価が3年目になる。知識伝達型の指導から知識活用型の指導に転換している途中であるが, 定期テストでの活用型問題の作成や適切なパフォーマンス課題を課すことによる生徒の知識活用力の向上をさらに目指していきたい。</p>	<p>年度当初から, 毎週の教科主任会議, 各教科会議を通じて具体的なノウハウの共有, 研究を行う。</p>
[3] 学校生活への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年との連携 ・ いじめ防止教育の実施 ・ 校則, 指定品の検討 ・ 多様性関連の講演実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導の状況, 不登校生徒の状況を把握し, 対応を検討する。 ・ 前期課程を中心として, 教育講座等で実施する。 ・ 生徒会と連携し, 校則と指定品について検討する。 ・ 教育講座で多様性・性被害などの公園を実施する。 	<p>教育講座は行事予定に合わせて計画, 実施する。それ以外は年間を通じて実施する。</p>
[4] 生徒会・部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容を明確にする。 ・ 生徒に自覚と責任を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒主導で活動内容を検討し, 実施するシステムを構築する。 ・ すべての委員会で積極的に活動できるよう, 生徒会活動を活性化させる。 	<p>年度当初から実施し, 半期で成果を検証, 修正を行う。</p>

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[5] 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難関大学への合格者を増やす。 ・ 学力の評価方法を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般選抜での受験者を増やすための進路指導を実践する。 ・ 全員で受験する模擬試験の実施回数を削減し, 希望者選択性の模擬試験を新たに設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間をかけて実施する。 ・ 年度当初に計画を立てて実施する。その成果を年度末に検証する。
[6] 保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な健康診断の実施 ・ 健康管理の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康を維持するために, 体力測定や健康診断の結果を踏まえた体力向上のための掲示や情報提供を行う。 ・ 家庭環境, 友人関係の構築・変化, SNS, 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初から取り組む。 ・ いじめ防止対策

	と教育相談の活用	インターネットによる情報など多方面から心に影響を受ける生徒の実情を見据えて、教育相談だけでなく教員が子どもの姿を捉えられるよう情報を共有していく。	委員会を定期的に開催し、生活アンケートを定期的に実施する。。
[7] 図書	・進路，進学指導に資する資料の用意	・大学入試の過去問集や，広く社会や世界に目を向けられるような教養あふれる図書を充実させ，生徒が進路を前向きに考えられるような環境を用意する。 ・ゼミ活動や探究活動の際に活用しやすい図書やデータベースを充実させる。	・新規の購入については，時期や出版状況を確認しながら順次取り組んでいく。
[8] 広報	・広報活動の充実 ・小学校，塾との関係性強化	・データを分析した上で効果的な広報活動を行い，入試関連行事への参加者を増やし，受験者数の増加につなげる。 ・小学校や塾への訪問機会を増やし，本校の教育活動と多彩な入試制度をアピールする。	・年間を通じて計画的に行い，各行事ごとに成果を検証する。
[9] 管理運営	・教育方針の浸透 ・各教員の資質・能力の向上 ・各教員のライフステージに応じた相互協力体制の構築	・校長の教育方針の理解を促進し，各教員が主体的に教育活動に取り組めるようにする。 ・新任のサポートはもとより，経験の多い教員についても社会情勢の変化を捉え，新たな教育への理解を深められるように研修する。 ・育児や介護など，人生の各局面の困難を助け合い，持続的に働きやすい組織体制を構築する。	・年間を通じて計画的に行う。 ・教科会議，教科主任会議，教職員会議の機会です度当初から研修の機会を設ける。 ・学園の他校とも協力しながら具体策を年度当初から検討していく。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[10] 庶務	・時代の変化をとらえた式典や保護者会の運営 ・同窓会活動の再構築	・コロナ禍が明けて通常に戻しながら，コロナ禍に得た新しい形態の残すべき部分を残しながら運営する。 ・コロナ禍で停滞していた同窓会活動の再構築を行う。	各行事の日程に合わせて計画，実施する。